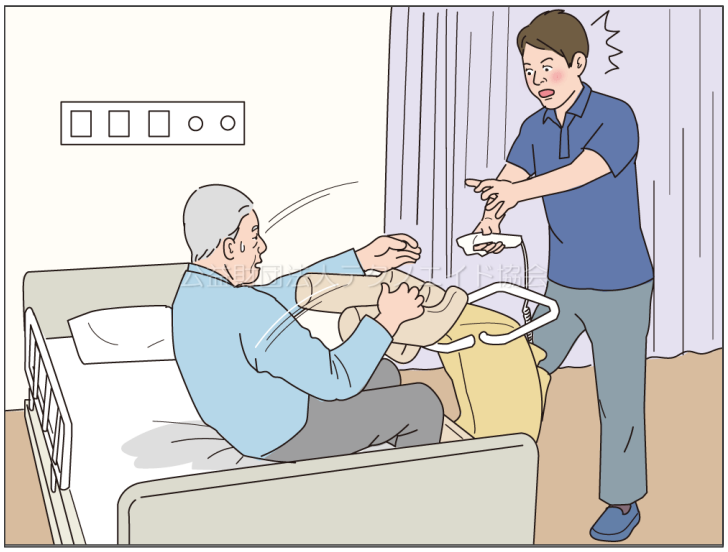
# 福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：420

腋下に入れたパッドの挿入が不十分で外れ、転倒しそうになった

## 場面の説明

ベッドからの立ち上がりを介助する際、スタンディングリフトの腋下パッドの挿入が不十分だったため外れ、後方にバランスを崩した



| | |
|---|---|
| 利用シーン | 起居・就寝<br>移乗 |
| 主な利用場所 | 寝室 |
| 介護保険の種目 | 移動用リフト（つり具の部分を除く） |
| 分類コード(CCTA95) | 123606 (台座式床走行リフト) |
| 介護テクノロジー | 移乗支援（非装着） |
| 二次元バーコード | |

## 解説

腋下にパッドを挿入する構造のスタンディングリフトでは、腋下パッドを十分に挿入し、同時に胸パッドに身体を密着させた状態で体重を腋下と胸に分散させることが大切です。そのためには、まず最初にベッド上で浅めの端座位となり手すりをしっかりと握るなど基本的な使い方を理解することが重要です。握ることが出来ない場合などでは背中にベルトをまわす構造のリフトを選定するなど、身体機能に適合した機種を選定しましょう。

## 参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：胸パッドに身体を密着させることの重要性を意識していなかった
モノ：背中をサポートするベルトの無い機種であった
管理：適切な使用方法の伝達が行われていなかった
管理：用意されている機種がどの程度の身体機能の被介護者に適合するか管理されず、現場まかせであった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

# 福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

| 日付： | 所属： | 氏名： |
|---|---|---|

Case：420

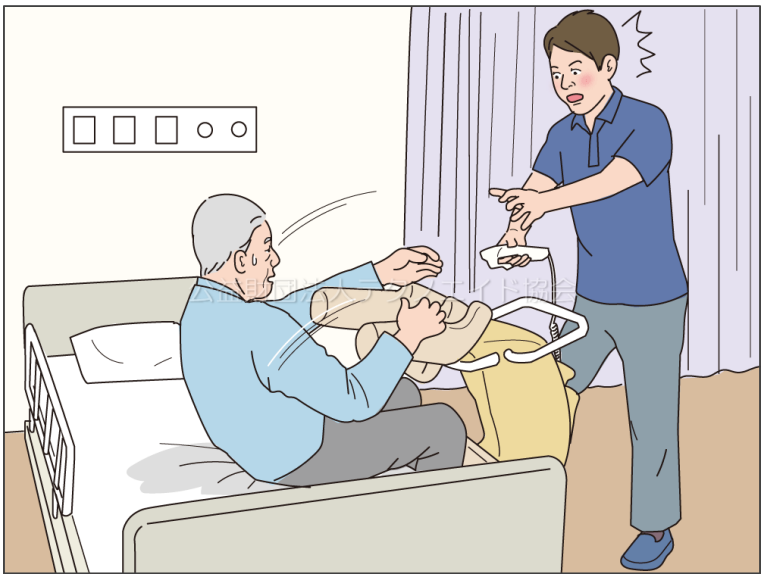
腋下に入れたパッドの挿入が不十分で外れ、転倒しそうになった

事例詳細

回答前に見ないこと

## 場面の説明

ベッドからの立ち上がりを介助する際、スタンディングリフトの腋下パッドの挿入が不十分だったため外れ、後方にバランスを崩した



| どのような要因が考えられますか？ | どのような対策が必要でしょうか？ |
|---|---|
| 人（本人・介護者・関係者）の要因 | |
| モノ（福祉用具）の要因 | |
| 環境の要因 | |
| 管理の要因 | |

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.